

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	あいく		公表日		令和7年 1月31日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		子どもたちが安全に楽しく活動できるように配慮しています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	1	児童10名に対し、指導員2名という国の人員配置基準に加え、加算要件を満たす人員配置を行っています。	屋内と屋外にわかれて活動をする際に、目が行き届かないところがあるように思うため、スタッフの増員が必要だと感じる。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		指はさみ防止引き戸を設置しています。上吊り引き戸で敷居がなく、床面がフラットです。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		毎日の清掃、消毒を行い、清潔な環境に気をつけています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		体調不良時、クールダウンが必要な時等に個室を使用できるようにしています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5		ミーティングを行っています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		保護者向け評価表による評価と公表を実施して意向を把握し、改善に努めています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		話し合いの場を設けています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		5		第三者による外部評価は実施していない為、今後必要に応じて実施を検討して参ります。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		内部研修を行い、支援の質を高めるよう努めています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		支援プログラムを作成し、HPで公表しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5		相談・関係機関と連携を図り、情報共有をして支援計画を作成しています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		担当者会議を行い、情報共有をしながら支援内容を検討しています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		個別支援計画に沿った支援を心がけています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		発達検査、知能検査の結果レポートを参考にしたり、アセスメントシートを活用したりしています。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」に則った支援内容を個別支援計画に表記しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		集団活動を行う際には、活動内容を話し合っ て考えています。	

児 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	1		固定化しつつあるので、子どもたちが色々なことを経験・体験できるような工夫をしたいと思います。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5		一人ひとりの目標に沿った計画を立案しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		適時確認を実施しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	1	支援で成功した点、工夫が必要な点等を職員間で意見を出し合い、翌日の支援につなげています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		業務日誌、ケース記録、連絡帳において、日々気づいた点、その日の体調、生活状況の変化等を記録して振り返りを行っています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		概ね6か月に一度、現状把握、振り返りを行ったうえで見直しを行っています。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		児童発達支援管理責任者や担当スタッフ等、適任者を選んで出席しています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	1	4	併行利用先の幼稚園や保育園の先生と話し合いの場を設けたり、互いの園での様子を見学し合う等しながら情報共有をしています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		5		必要に応じて対応していきたいと思います。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		5		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		5		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		送迎時等に、園での様子を伝えたりご家庭での様子を聴いたりしながら情報共有をしています。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		5			
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		丁寧に説明することを心がけています。		
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		面談や電話などで話し合いの場を設けています。		

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5		支援内容の説明を行い、同意を得ています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		都度、子どもの現状に応じてお話しし、悩みや相談に適切に対応しよう心がけています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		5		
	40	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		いただいた相談や申し入れに対しては、迅速かつ適切に対応するようにしています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5		園だよりを発行、玄関の連絡ボードに提示しています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		個人情報が記載された書類は鍵付きの書庫に保管しています。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		特性等を把握したうえで配慮しています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		5		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5			事業所内での共有は行っているが、保護者への周知はできていない部分があるので、面談等で伝えていきたいと思っています。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		年に二回避難訓練を実施しています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5		必要に応じて服薬等の取り決めを保護者の方と行っています。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		都度、保護者の方に確認を行い、職員全員で把握できるようにしています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5			
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		危険な事例が怒った際には、ヒヤリハット報告書を作成・保管し、職員間で共有していません。	今後も随時情報共有を徹底していき、安全に事業運営を行っています。
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		内部研修を実施しています。		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5		現在対象児童はおりません。身体拘束に関しては、利用者本人の生命や身体を保護する為、緊急を要する場合に、切迫性・非代替性・一時性であることを条件に行うことをスタッフの共通認識としています。対象児童がいる場合には、組織的に決定し、支援計画に記載する体制があります。		